筑　紫

会報　第６４号

発行者　社会福祉法人筑紫会　　理事長　吉原　　毅

障害者支援施設　　真壁授産学園　電話 0296-55-4007
〒300－4422　　茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
障害者支援施設　　真壁厚生学園　電話 0296-54-2578
〒300－4422　　茨城県桜川市真壁町亀熊８５２

編　集　筑紫会報　　編　集　委　員　会

秋空の下で、みんな楽しく　～　秋祭り　（真壁厚生学園）

目　次

・行事のお知らせ・・・・・・・・・・・・1P
・溶岩窯パン工房マカパン　十周年祭を終えて・・2P
・研修報告　～専門的な知識の習得をめざして～・3P
・施設内外行事・・・・・・・・・・・4　5P
・イベント・外出・・・・・・・・・・・6P
・温かいご支援に支えられ・・・・・・・7P
・季節の行事　節分・・・・・・・・・・7P
・ありがとう善意の心・・・・・・・・・8P
・退職者、退所者のお知らせ・・・・・・8P
・情報発信とお知らせ・・・・・・・・・8P
・編集後記・・・・・・・・・・・・・・8P

§　行事のお知らせ　§

五月	合同運動会 後援会定期総会
七月	奉仕作業
八月	合同夏祭り

行事につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる可能性がございますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

溶岩窯パン工房マカパン十周年祭を終えて

【十月二十九日】

マカパン店長　飯島正美

▼記念すべき十周年

令和四年十月に溶岩窯パン工房マカパンは十周年を迎えることができました。これもひとえに、共に働くご利用者様、ご父兄の皆様、地域の方々、そしてマカパンに関わってくださっている全ての皆様のお陰と深く感謝申し上げます。その思いを形に変え、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った上で、『周年祭』を実施させていただきました。

▼安達勇人さん登場！

当日は昨年に引き続き、様々な分野で当法人と関わりを持ってくださっている、いばらき大使・さくらがわ応援大使の『安達勇人』さんが、非常にタイトなスケジュールの中、応援に駆けつけてくださいました。その他、２９４コーヒーの試飲会および販売会、授産学園産・厚生学園産の野菜・果物の販売会、厚生学園室内班による手芸品の販売、授産学園創作班による作品の展示、マカパンではミニパン詰め放題等、『オール筑紫会』でご来場いただいた皆さまへおもてなしをさせていただきました。

▼多くの方がご来場され、大成功

天候にも恵まれ、そして『安達勇人』さん効果やこれまで行ってきたプロモーション（新聞掲載・折り込み・ＳＮＳ）の成果もあり、県内外から多くのお客さまにご来場いただくことができ、当日はここ数年で一番の集客となりました。

▼来年もよろしくお願い申し上げます

事前の準備や当日の運営、片付けに携わっていただいた職員やご利用者さま全員が、『来てくださった全ての方に喜んでいただこう。楽しんでいただこう。』という想いを持って、連携を図りながら自身の役割以上の仕事を行っていただいたことで大きなトラブルや混乱、怪我、事故なく、大盛況にて無事周年祭を終えることが出来ました。

今後もマカパンが果たすべき役割や私個人が果たすべき役割を常に考え、より地域に根ざした存在を目指し行動していく所存です。

さらなるイベントも！

令和五年四月十五日（土）には、安達勇人さんファン待望である『桜川大作戦』と題した、ツアーファイナルが開催される予定となっています。場所は、桜川市岩瀬体育館ラスカメインアリーナで行われ、全席指定席で観覧無料となっております。桜川市民や茨城県民はもちろん、全国からご来場いただいた全員が楽しめる大型まちおこしフェスティバル『桜川大作戦』を誕生させ、桜川市最大のイベントにしたいと意気込んでいます。当日は、マカパンや２９４コーヒーの販売を予定しており、参加希望のご利用者様も行く予定です！！

▼授産学園コーヒー班

マカパン駐車場にてタープテントを張って２９４コーヒー試飲会及び販売会を行いました。

試飲会では、通常販売しているブレンドコーヒーの山桜、スタンダード、鬼真壁に加えてストレートコーヒーも取り揃え、グアテマラ、パプアニューギニア、マンデリン等、参加して頂いた方々に様々なコーヒーをお試しいただくと、「うわぁ、これは美味しいですね！」と大変に喜んでくださいました。

お客様の中には、「グアテマラか、これが欲しかったんだ。ありがとうございます」とコーヒーに拘る方も多く、関心の高さを感じました。

▼ご利用者様も参加頂きました

試飲会では、ご利用者様４名もお手伝いをして頂きました。２９４コーヒーのパンフレットや試飲用のコーヒーをお客様にお渡ししたり、「いらっしゃいませ！」と大きな声で挨拶をしたりと、楽しく参加していただきました。

働きやすい職場づくりのため ～ハラスメント研修での学び～

真壁厚生学園　小原孝明

研修にあたって

今年度より事業主にハラスメント防止措置を講ずることが義務化されたことに伴い、昨年度から研修を重ね基本的な内容の理解に努めてきました。今回は法的な社会的責任などの理解をより深めるため、弁護士法人ＡＬＧ様によるハラスメント研修（リモート）が催され、授産学園、厚生学園共に各施設で受講いたしました。

ハラスメント防止法について

ハラスメント防止法の概要として、ハラスメントが生じないよう、企業は労働者からの相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備と、雇用管理上必要な措置を講じる必要があります。

また、ハラスメントの相談を行ったこと、それに協力したことを理由に、従業員に対し不利益な扱いをしてはならず、それらを行った場合には違反に対する指導が行われ、是正されなければ企業名公表といった企業イメージの悪化を招くことにもなります。

企業の責任

研修の中で紹介された事例では、継続的なパワハラを企業が放置した上、過重な業務を担当させたことで、被害を受けた従業員がうつ病を罹患した件が紹介され、企業は被害者家族から訴えられ、多額の損害賠償を負うこととなりました。

ハラスメントを見逃した上司や防止できなかった企業は責任を負うこととなるのです。ハラスメント防止の方針を明確化し、周知啓発することや、ハラスメントやハラスメントを行った者に対するスピーディー且つ厳正な対処が企業には求められます。

ハラスメントによる悪影響

ハラスメントによる企業への悪影響として、職場の雰囲気が悪くなり、従業員が充分に能力を発揮できなくなることや、心身の健康を害し、休職、離職などに至るといった例が挙げられています。

その他、モラルの低下、人材の流出、訴訟による賠償、退職者による信用毀損行為なども危惧されます。

最後に

ハラスメントをきっかけに起こりうる企業への悪影響を職員全員が理解し、ハラスメントを起こさないよう皆が高い意識を持つことが重要です。

今後も法人全体で定期的に研修を実施し、誰もが働きやすい環境を作っていけるよう、継続した取り組みを行って参ります。

強度行動障害研修に参加して ～個に応じた支援とは～

真壁授産学園　老田成男

強度行動障害とは

知識と経験の浅い私は、「強度行動障害ってなんだろう」と思いながら講義を受けてきました。講義を聞くと、自閉症の方がなりやすく、ご本人の健康を損ねる行動や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こることから、特別に配慮された支援が必要になっている状態であることを学びました。

理解と支援の基本的な考え方

講義を聞きながら当施設でのご利用者様のことを思い浮かべ、照らし合わせながら対処方法や接し方についても学ばせていただきました。

Plan（計画）、Do（実践）、Check（評価）、Action（改善）に沿った支援を行い、ご利用者様の不安や緊張から「逃れたい」「伝えたい」「気づいてほしい」を軽減させ、安心した暮らしの実現に繋げていくことの重要性を知りました。

伝える難しさ

講義だけではなく、演習（グループワーク）を行うことで他施設の方の考えや意見を聞くことができました。私とは違う視点や考えがあり大変勉強になりました。【クジラやイルカは魚ではなく同じ哺乳類です】というテーマを、言葉を使わずジェスチャーのみで表現できる人が果たして何人いるのでしょうか。私にはできませんでした。伝える難しさ、もどかしさというのを実際に体験してみるとこれが大変難しく、ご利用者様の気持ち（立場）が理解できたような気がしました。

逆に、言葉のみで伝えることも思っている以上に伝わらないということが分かりました。個々に合った支援がいかに大切かを学び、情報収集から分析、支援のアイディアにチームプレイと施設全体で共有し、統一した支援を行っていくことで、少しでも強度行動障害の状態を理解し、ご利用者様の不安や緊張を軽減させながら、一歩ずつ前進していきたいと感じました。

最後に

今回の研修に参加して、知識を得ることによって支援の質の向上と共に虐待防止にも繋がるということも学ばせていただきました。

一番困っているのはご利用者様自身だということを忘れず、ご利用者様と向き合っていきたいと思います。個々に合った支援を展開し、少しでも不安を解消して安心した日々を送れるよう今後も支援して参ります。

Merry christmas!
聖なる夜にサンタさん登場

【真壁授産学園　十二月二十四日】

令和四年もあっという間に過ぎ去り、気づけばもう年末。年の瀬迫るクリスマスイブ、授産学園では今年最後のお楽しみであるクリスマス会を開催しました。

会場に置かれたクリスマスツリーには、ご利用者様が手作りしたオーナメントがたくさん飾られました。実行委員から開幕の挨拶が終わると、ご利用者様からの呼びかけでサンタが登場！サンタさんを拍手と歓声で迎え、会場は一気に大盛り上がりです。

★お楽しみビンゴ大会！

クリスマス会、最初は皆様お楽しみのビンゴ大会。会場には豪華なビンゴの景品が並び、ご利用者様は興味津々。一人ひとりにビンゴカードが配られ、さぁビンゴ開始！職員が読み上げる番号を聞き逃さないよう、皆様真剣にカードを見ていました。続々とビンゴの声が上がり、サンタさんからの景品を手渡しされると、嬉しそうな笑顔を浮かべていました。

それぞれに当たった景品を見ては「手袋暖かそう」等と嬉しそうに見せ合っていました。

★ドキドキステージ披露

ビンゴ大会を終え、午後は創作活動班の皆様によるダンスと歌の披露です。オンライントレーニングの先生に振り付けをお願いして練習した曲を踊り、クリスマスソングを楽器演奏とともに歌いました。ダンスが得意なご利用者様のダンス披露では皆様手拍子して盛り上げ、アンコールの声で会場全体のボルテージは最高潮に！

★クリスマスケーキ

最後はクリスマスケーキの登場！苺のショートケーキやチョコケーキ、ミルクレープ等、様々なケーキがテーブルに並び、ご利用者様にはそれぞれ自分の好きなケーキを選び美味しく召し上がっていただきました。色とりどりのケーキを写真に収めているご利用者様もおり、素敵なクリスマスの思い出の一枚となりました。

うらめしや～
楽しいお化け屋敷開催！

【真壁厚生学園　八月二十九日】

例年以上の猛暑となった令和四年の夏。今年はなんと創作活動班初の試みとしてお化け屋敷を開催しました。ご利用者様の外泊が難しい中、創作活動班の職員で夏にご利用者様が何か楽しめる事を新しい形として出来ないか考えた結果、活動場を一日お化け屋敷会場にしてみました♪

◎楽しめるお化け屋敷を

お化け屋敷といってもご利用者様が怖がらない程度に、かつ楽しめるものを意識して、可愛い手作りの傘のお化けや一反木綿を吊るしてみたり、職員が貞子のコスプレをしてみたりと試行錯誤して当日を迎えました。

ご利用者様からは「怖かったけど、楽しかった！」「来年もやってほしい！」と大盛況であり、とても満足していただきました。創作活動職員一同この反応には喜びを感じており、行って良かったと感じました。

◎これからも楽しい企画を

私達創作活動班職員は今後も「楽しい」「新しい」をモットーに、ご利用者様が楽しめる様々なレクリエーションを企画していきたいと思います。

オンライントレーニング

【真壁厚生学園】

ご利用者様の高齢化に伴い、どのようにして身体機能の低下を防ぐかを模索しておりました。その中で、真壁授産学園にてスポーツインストラクターを講師に招いてオンライントレーニングを行っていると聞き、ぜひ真壁厚生学園の創作活動班でも取り入れたいと考え、インストラクターの方にメニューを組んでいただいて、週に一回ズームを利用してトレーニングを行っています。

初めは、上手く体を動かせないご利用者様もいましたが、インストラクターから気軽に明るく声掛けしていただく事で、ご利用者様もオンライントレーニングに慣れて体を動かせるようになりました。また、インストラクターよりご利用者様一人一人に声掛けしていただいている事も、やる気アップに繋がっています。

今では毎週火曜日がご利用者様の中で待ち遠しい曜日となりました。

今後もより体を動かせるような支援を取り組んでいきます。

ミニイベント　授産学園

学園祭

【十一月二十三日】

今年は雨天の為、屋内にて趣向を凝らした学園祭を開催いたしました。

▼初の紅白歌合戦！

今年は、授産学園で初の試みとして、メインイベントに第一回紅白歌合戦を行いました。男女に分かれ交互に歌を披露していただき、園長および自治会役員による採点で合計点を競っていただきました。

多くのご利用者様や職員がエントリーし、ステージ上で堂々と歌を披露する方々に対して、観客席からは合いの手はもちろん「最高だったよ！」「上手だね！」と声援を送る方もいらっしゃいました。

▼ダンスを披露された方々も…

創作活動班によるキツネダンスやUSAダンス、中にはソーラン節やK-popダンスを披露したご利用者様もいらっしゃり、歌だけでなく各ご利用者様がそれぞれ得意な分野で活躍できる場となりました。

結果発表では僅差で白組が勝利しましたが、最後はどちらのチームのご利用者様からも「楽しかった！」と笑顔が見られ、勝敗にこだわらず皆様に楽しんでいただけたように思います。

▼マカパン&２９４ＣＯＦＦＥＥ出店

もう一つ学園祭の醍醐味といえば屋台料理ですが、今年は焼きそば、フランクフルト、クレープ、けんちん汁、フライドポテトに加え、マカパンから菓子パン、２９４ＣＯＦＦＥＥからはウインナーコーヒーやマシュマロとチョコレートを溶かしたお手製コーヒーなど新商品も販売しました。

ご利用者様には食堂内にて召し上がっていただきましたが、「屋台を周りたい！」という声が多く、少しでも屋台の雰囲気を味わっていただけたらと思い、雨に濡れないよう玄関付近にテントを建てて出店し、自由に料理を取りに来ていただきました。何度もお替わりをするご利用者様もいらっしゃり、久しぶりの屋台料理を十分に堪能していただけたのではないかと思います。

最後に恒例のビンゴ大会を行い、全員が無事に豪華景品を受け取り、今年も大盛況の中で幕を閉じることができました。

収穫祭&富谷山ドライブ　外出イベント

【十月十日】

今年も『収穫祭』の季節がやってきました。毎年行っている収穫祭ですが、コロナウイルス感染拡大後は様々な規制を余儀なくされていたため、今回のイベントでは少しでもご利用者様がリフレッシュできるようにとの思いから、外に出る機会を設けようと、収穫祭に加えて富谷山へのドライブ外出を行いました。

前日からご利用者様はお気に入りの衣装を選んだり、当日にはお化粧をしておめかしをしたりと、心待ちにしている様子が伺えました。

富谷山ドライブ

そして当日、残念ながら朝から雨が降っており、お天気が良ければ富士山も眺める事のできる富谷山ですが、ほとんど外の景色を眺める事は出来ませんでした。それでも、事前にそれぞれが飲みたいジュースを購入し、オヤツも用意されておりましたので、車内ではありましたが山頂で好きなジュースとオヤツを召し上がっていただきました。

ご利用者様からは「良い気分転換になったよ！」「オヤツ食べられたし良かった！」「また行きたい！」等の声をいただき、満足していただけたと思います。

収穫祭

ドライブを終えた後は、待ちに待った『収穫祭イベント』です。今年も、生産部で丹精込めて作った自然栽培米や野菜を使用した塩むすび・けんちん汁・漬物での昼食となりました。

一時間前にオヤツを食べたばかりでしたが、おかわりする方も多く、皆さん口を揃えて「美味しい！」「オヤツも美味しかったけど、ご飯とけんちん汁も最高！」等の声を聞くことも出来て、自然の恵みに感謝しながら美味しくいただく事が出来ました。

今回、晴天の中での開催とはなりませんでしたが、ご利用者様に少しでも『秋』を感じていただけたのではないかと思います。

また、皆様がおいしそうに食べている姿を見て、農耕班のご利用者様や職員が頑張ってきたことが報われたように感じたことに加え、これからも食の楽しみを提供できるようにと身の引き締まる思いも同時に感じました。

今回の外出をきっかけに、来年以降もコロナウイルスの状況を見ながらにはなりますが、ご利用者様が少しでも楽しんでいただけるイベントや外出を企画していきたいと思います。

久しぶりの外出で大満足♪

【真壁厚生学園　十月二十二日】

☆希望外出

この度、ご利用者様と職員とで、三班に分かれて希望外出に行ってきました。一、二班は桜川市内にあるお好み焼き屋さんに外食へ、三班はお弁当を購入し、下妻市の公園へピクニックに行きました。

☆千～せんなり～食べ放題

一、二班は、ご縁あって、桜川市内にある千～せんなり～さんに外食へ行きました。感染症対策としてお店を貸し切りにしていただき、大人数にならないよう午前と午後に分かれてお店に行きました。到着するとせんなりの皆様が温かく迎えてくださり、店内もきれいなお花が飾られ、明るい雰囲気の中、入店しました。

初めてのお店で、目の前で調理されるお好み焼きや焼きそばにご利用者様は大興奮！最後にはおしゃれなパフェも出てきて、久々にお店での外食ということもあり、大満足な外出となりました。

☆下妻方面外出

もう一方の下妻方面へ外出に行った三班も、感染症対策として人が少ない時間を利用し、購入したお弁当を持参して小貝川ふれあい公園へ出掛けています。

当日は天候に恵まれ、穏やかな気温と暖かな日差しの中で外出を楽しみました。のんびりとお散歩をして、食事をしたり、雑談をしたりと、普段では中々送ることのできない、充実感に満ちた時間を過ごせました。

☆リフレッシュ

ご利用者様からも「久しぶりにお出かけできて楽しかった！」「またお出かけできるように活動頑張るね！」等の言葉がありました。

各班のメンバー全員の表情が満たされており、とても良いリフレッシュになったように感じました。

マカパン食べ放題

【真壁厚生学園　十二月四日】

当法人の運営する溶岩窯パン工房マカパンへ、食べ放題に行ってきました。

こちらも十月の外出同様に感染症対策として、マカパンを貸し切って実施いたしました。昨年もマカパンにて食べ放題を行っており、その時の楽しかった記憶から、行く前から目を輝かせているご利用者様が何人もいらっしゃいました。

お店に到着すると、店内には様々な種類のミニパンと、焼きたてのピザ、おいしい揚げ物やスープが並んでいました。ご利用者様は気になった食べ物を順にとって食べており、中には目移りして中々選べない方もいらっしゃいました。おいしい食べ物をたくさん食べて、帰る頃には、あふれんばかりの笑顔で、留守番をしていた職員に嬉しそうに報告をしてくれました。

〈外出にあたって〉

今回、新型コロナウイルス感染症の感染状況が下火になったことと、ご利用者様にはここ数年、外出を控えていただいていたこともあり、学園の敷地外の環境にて、気分のリフレッシュと、思いきり楽しんでいただきたいという思いから外出を企画いたしました。

昨年度、筑紫会と千～せんなり～さんのご縁があり、前回は授産学園でしたが、今回は厚生学園で利用させていただきました。温かく迎え入れてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、マカパンでの食べ放題でも、馴染みのあるパン屋さんでアットホームな雰囲気を作っていただき、和やかに楽しむことができました。

〈制限のある中での楽しみを〉

ご時世柄、様々なことに制限を設けられ窮屈な思いをしている現在。先行きの見えない不安から、どのようにしてご利用者様の不安や、ストレスを軽減できるかが課題となっております。

制限がある中でも安全にご利用者様が楽しめるような機会を設けたい一心で、このようなイベントを企画いたしました。

今後も可能な中でご利用者様が楽しめるようなイベントを企画していけたらと思います。

温かいご支援に支えられ

新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年に引き続き、年末年始の外泊を中止して、ご利用者様には施設で過ごしていただきました。外泊を楽しみにしていたご利用者様の、充実した年末年始のためにと寄附を募ったところ、たくさんの皆様からのご協力をいただくことができました。

▼寄附　（順不同）

㈱フリーダムコーポレーション柴山様
根本明様／高橋良男様／内藤俊彦様
細野庸一様／安藤昌知様／早川美保様
中村講治様／和田徹様／工藤リエ子様
柴吉力様／小竹初美様／田中美智子様
広岡久様／浅野敬繁様／酒寄輝和様
上之門百合子様／小須田すみ江様
柴宗徳様／鴫原康博様／坪野谷隆夫様
沼尻功様／飯村久様／小田島郁夫様
袖山裕展様／飯田正夫様／笹目俊夫様
飯島直様／斉藤俊夫様／堀越栄治郎様
川津忠男様／村山英雄様／木口茂様
野寺道子様／君山誠様／石山世喜子様
岡部正敬様／高松三夫様／村山道春様
郡司さい様／油原邑江様／飯塚勝男様
古沢道子様／根岸定雄様／松崎伸夫様
栗島民男様／齊藤弘様／正根知進様
大野竜也様／冨田良子様／加藤梅子様
榎戸斗史夫様／大塚たま様／高田章様
森田悦子様／広瀬均一様／小池初美様
鈴木とし子様／鈴木省一様／山中弘様
岩渕二郎様／佐川正行様／中里大祐様
寺﨑一夫様／根本キイ様／豊後勝也様
豊島洋子様／臼井猛様／森下松寿様
伊藤勝也様／山中哲夫様／佐藤義夫様
皆川美智子様

両施設の新年会の行事費用、ご利用者様へのお年玉等として、それぞれに使用させていただきました。

ご父兄並びに多くの皆様にご協力、ご支援をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ＳＮＳ更新中

各ＳＮＳにて、ご利用者様の日々の活動の様子を更新しています。

●Facebook

●Instagram

季節の行事　節分

筑紫会では、四季の移りをご利用者様に感じていただくため、季節の行事を大切にしています。花見、七夕、収穫祭など、さまざまな企画を楽しんでいただいており、今回の節分もその一環として行いました。

○節分の起源

現在では季節の風物詩として定着している節分ですが、起源を辿ると平安時代の『追儺（ついな）』という宮中行事にまで遡ります。また、読んで字のごとく『季節を分ける』という意味もあり、立春のみならず、立夏や立秋、立冬も指していました。

○豆まき

豆まきにももちろん意味があります。豆が『魔滅』に通じ、鬼に豆をぶつけて邪気を追い払い、一年の無病息災を願うのです。

ただ頑張って鬼を退治するだけではないのですね。

○活動にて

各活動班にて実際に豆まきを行いました。鬼や福の神のお面をみんなで手作りし、いざ鬼退治！鬼に扮した職員めがけて、「鬼は外！福は内！」と元気よく豆を投げていました。

豆を投げて鬼を撃退したご利用者様の顔は晴れやかであり、ストレス発散に思い切り豆を投げることも、実は無病息災に繋がるのでは…と感じるほどの気迫でした。

楽しみは豆まきだけではなく、厨房職員が腕によりをかけて作った恵方巻きもまた、節分の醍醐味。「良いことがありますように」と願いつつ、大きなお口でかぶりついていました。

○季節を感じる

冒頭で述べた通り、季節の行事には様々な意味や背景があります。「この行事はなぜ始まったのだろう」そんなことを考えながら行事を楽しむことで、さらに深く季節や歴史を感じることができるのかもしれません。これからも趣深い季節の行事を大切に、ご利用者様にも楽しんでいただけるよう企画して参ります。

ありがとう　善意の心

ご父兄の皆様より、この度もタオルや雑巾、飲み物や果物、お菓子等々、沢山いただきました。ご父兄の皆様のお気遣いに感謝申し上げます。

大塚　たま　様　　工藤　忠男　様
髙田　章　様　　根本　明　様
広瀬　均一　様　　森下　松寿　様
浅野　敬繁　様　　臼井　猛　様
豊島　洋子　様　　根岸　定雄　様
君山　誠　様　　鴫原　康博　様
岡部　正敬　様　　川津　忠男　様
（順不同）

また、京葉グループ代表・鈴木孝行様より、両施設へお米三十キロを頂きました。今年もたくさんの美味しいお米を頂き、お心遣い感謝致します

両学園の事業にご支援頂き誠にありがとうございました。この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

新規職員紹介

真壁授産学園・支援員
渡辺　雅雄　（１／１０付）

①出身地　桜川市
②趣味　ゴルフ・写真撮影
③好きな言葉
「人は唯一人では生きられない。多くの人や物に支えられ、生かされることによって生きている。この恩に報いる唯一つの道は、人を活かし物を活かすことである。」
④一言メッセージ
私にとって最後のご奉公となります。

成人おめでとうございます♪

本年度は、真壁授産学園の酒寄翔太さん、真壁厚生学園の大橋充さんの二名が成人を迎えられ、今年の抱負を伺いました。

○酒寄翔太さん
「畑仕事を頑張りたいです」

○大橋充さん
「作業で道具の名前や使い方ができなかったので、覚えたいです。みんなと仲良く作業を頑張りたいです」

今後のご活躍をご祈念しております。

退職者・異動、入所者のお知らせ

▽退職者
１０／３１付
支援員　杉村　成子　（授産）
１２／３１付
調理員　臼井　幸子　（授産）
支援員　児玉　百合香（厚生）
２／２８付
支援員　柏　基憲　（授産）
調理員　兼村　匡人　（授産）

▽異動（厚生学園→授産学園）
１／１付
調理員　阿部田　恵子

▽入所利用者
入所ご利用者様【通所】
１１／１付　荒山　舞人　（授産）

お悔やみ申し上げます

令和五年一月二十六日、筑紫会後援会会長を長らく務めて頂いておりました根岸定雄様が永眠なさいました。

令和四年九月十六日、真壁厚生学園の入所をご利用頂いておりました海老原勇気様が永眠なさいました。

職員並びに利用者一同
ご冥福をお祈りいたします。

苦情受付・相談

令和四年度苦情受付のご報告を致します。

１．苦情申出件数　３件
相談申出件数　１件
２．苦情・相談内容
【苦情】
○連絡帳に関わる事項　１件
○送迎に関わる事項　２件
【相談】
○支援に関わる事項　１件
３．苦情解決状況
受付内容を精査し、改善致しました。
今後ともご利用者様やご父兄の皆様が安心できるような施設運営に尽くして参ります。よろしくお願い致します。

◎筑紫会苦情受付担当
真壁授産学園　髙橋・保坂
（０２９６-５５-４００７）
真壁厚生学園　吉原（晴）・杉山
（０２９６-５４-２５７８）

編集後記

新型コロナウイルスと同時に、インフルエンザも流行ってきております。感染症防止の上、お体には十分にお気を付けください。

今年度は、和田・廣・高信・志賀・杉本・檜山（授産）・平井・木村・高久・岡本・宮田（厚生）が編集いたしました。